

イムブルビカ®で 慢性移植片対宿主病 (慢性GVHD)を 治療される方へ

監修

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 輸血・細胞治療部 部長／
造血細胞移植後長期フォローアップセンター センター長 **森有紀** 先生



イムブルビカ®の 治療をはじめるとあって

この冊子では、慢性移植片対宿主病(慢性GVHD)の患者さんが、イムブルビカ®で治療する際に安心して服用していただくための情報をお伝えしています。

治療をはじめる前に、下記の注意点についてご確認ください。

また、この冊子に目を通していただき、病気や治療に対して、不安なこと、わからないことがあれば、遠慮なく医師、看護師、薬剤師に相談してください。

-
- 現在お使いいただいているお薬は、薬局で買ったお薬も含め、すべて医師にお知らせください。
 - 以前に他のお薬による治療を受けて、アレルギーや副作用が出たことがある方は、あらかじめ医師に申し出てください。
 - 他の医師または歯科医師の治療を受けるときは、このお薬による治療を受けていることを必ず伝えてください。



目次

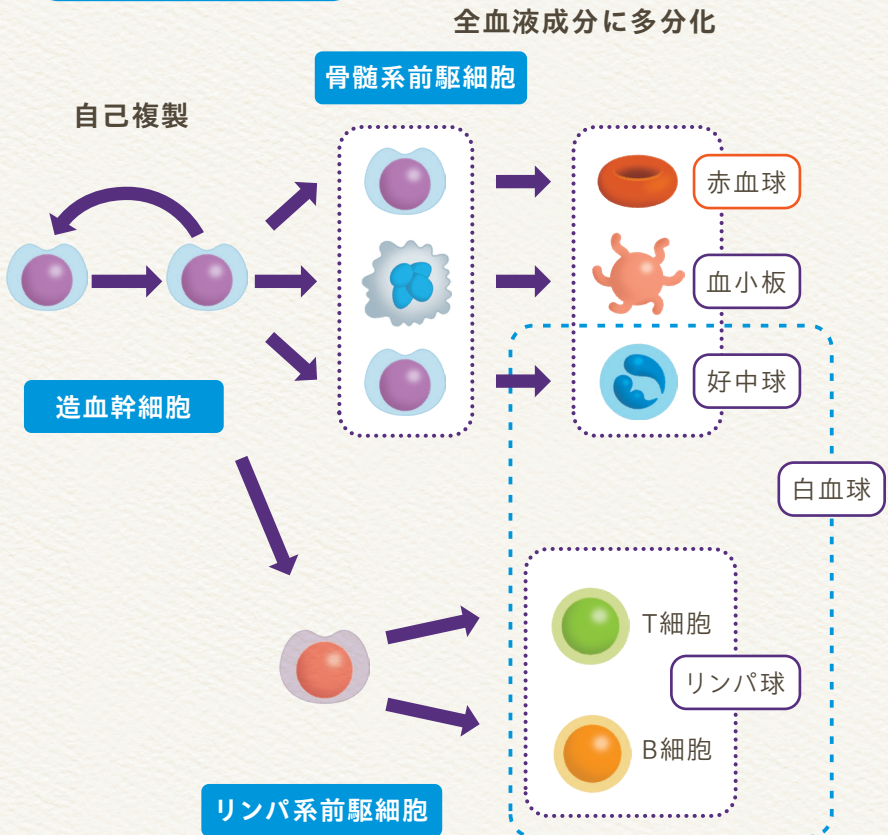
イムブルビカ®の治療をはじめるにあたって	1
造血幹細胞移植とは	3
移植片対宿主病(GVHD)について	7
慢性GVHDについて	8
慢性GVHD治療について	10
イムブルビカ®ってどのように働くの?	13
どんな人がイムブルビカ®の治療を受けるの?	14
イムブルビカ®の治療前に確認すること	15
イムブルビカ®を飲むときに注意することは?	17
イムブルビカ®の服用中に注意が必要となるお薬や食べ物	18
イムブルビカ®服用中の副作用は?	19
服用中にあらわれやすい副作用	21
特に注意が必要な副作用	23
日常生活の注意点	27
服用を続けるためのヒント	28
治療中の体調や気になることを記録しましょう	29

造血幹細胞移植とは

造血幹細胞とは

造血幹細胞は、自分自身を複製する能力(自己複製能)と、複数の血球系統に分化する能力(多分化能)を兼ね備えています。血液中の白血球(好中球やリンパ球など)、赤血球、血小板を作り出します。

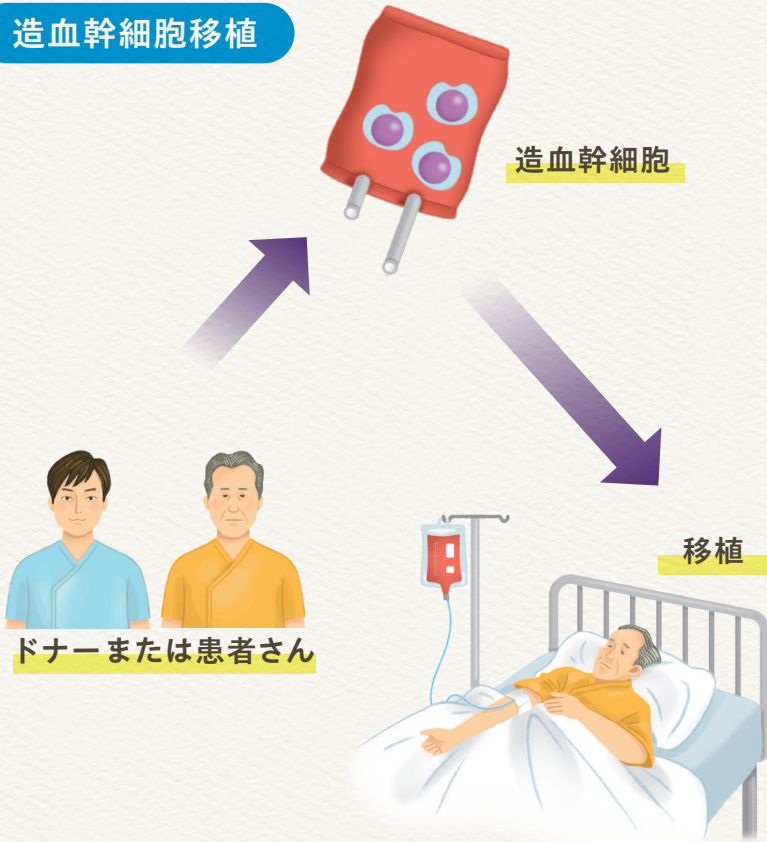
造血幹細胞の特徴



造血幹細胞移植とは

造血幹細胞移植は、血を作る能力(造血機能)に異常をきたし正常な血液細胞を作ることができなくなった患者さんに、ドナーやあらかじめ採取しておいた患者さん本人の**造血幹細胞を移植**して正常な造血機能を取り戻す治療法です。

造血幹細胞移植



造血幹細胞移植とは

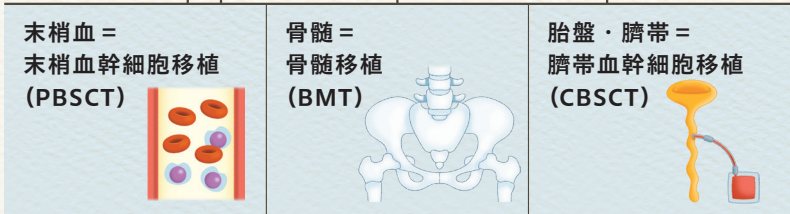
造血幹細胞移植の種類

造血幹細胞移植は、細胞の由来により自家移植と同種移植に分けられます。また、採取部位により骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植に分けられます。

造血幹細胞の由来



造血幹細胞の採取部位



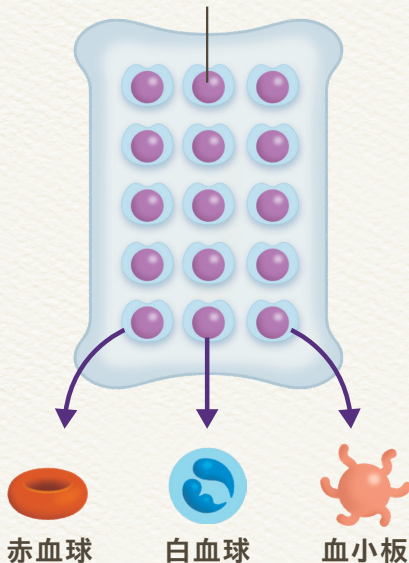
生着と拒絶

同種移植において、移植されたドナーの造血幹細胞が患者さんの骨髄に定着し、ドナー由来の造血が認められるようになった状態を「生着」と呼びます。一方、移植されたドナー由来の造血幹細胞が、残存していた患者さん由来の免疫担当細胞（リンパ球）に非自己と認識され、排除されてしまうことを「拒絶」といいます。

生着と拒絶

生着

ドナー由来の造血幹細胞



拒絶

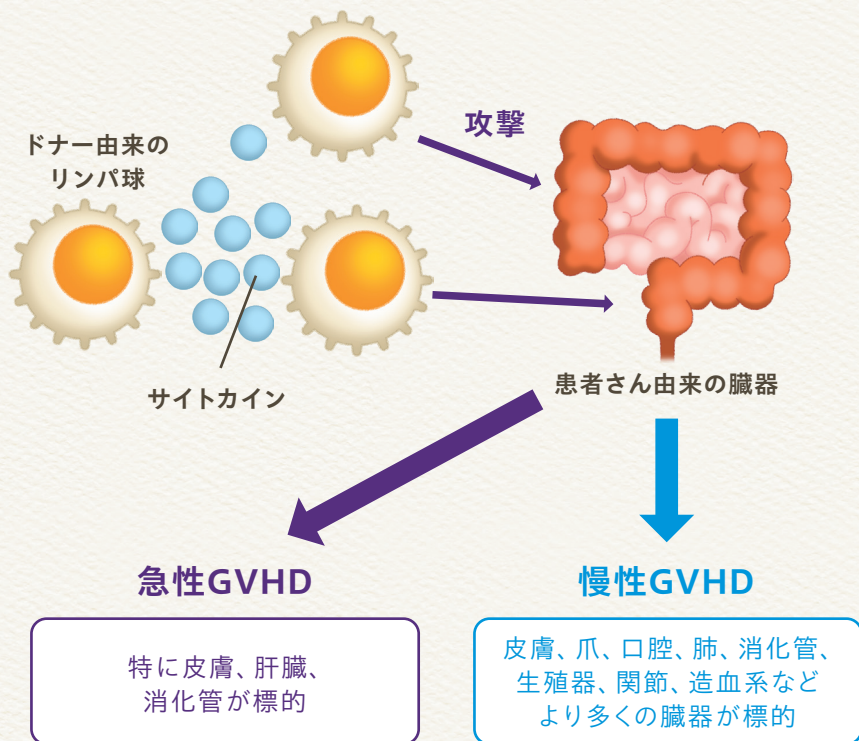


「移植片対宿主病(GVHD)について」

GVHD はなぜ起こるの？

GVHDはドナー由来のリンパ球が、患者さん由来の臓器を非自己と認識して攻撃する病態です。GVHDは、臨床症状により、急性GVHDと慢性GVHDに分類されます。

サイトカイン：細胞同士の情報伝達などを行うタンパク質のこと



移植後100日以内に起こりやすい急性GVHDと、100日以降に起こりやすい慢性GVHDがあります。ただし、100日以降に起こる急性GVHDや100日以内に起こる慢性GVHDもあり、通常、臨床症状により分類されます。

「慢性GVHDについて」

慢性 GVHD の発症機序

慢性GVHDの発症機序は完全には解明されていませんが、T細胞の活性化、制御性T細胞の機能低下、B細胞による自己抗体産生などの仮説があります。

仮説①

ドナー由来の T 細胞の活性化

ドナー由来のT細胞が、患者さんの臓器を異物と認識して攻撃します(急性GVHDと同様の機序)。

仮説②

制御性 T 細胞^{ティーレグ} (Treg) の機能低下

過剰な免疫応答を抑制(免疫寛容)する役割をもつ制御性T細胞(Treg)の移植後の回復が不十分なために、慢性GVHDが引き起こされます。

仮説③

B 細胞の関与

近年、慢性GVHDの発症機序としてT細胞だけでなくB細胞の関与も示唆されています。B細胞が異常に活性化することで、患者さんの臓器を攻撃する自己抗体が産生され、慢性GVHDが引き起こされます。さらにB細胞は、B細胞受容体のシグナルを介した抗原提示、サイトカイン遊離、免疫調整機能などにも関わっており、自己免疫疾患の発症に寄与していると考えられます。¹⁾

1) Shimabukuro-Vornhagen A, et al.: Blood. 114: 4919-4927, 2009.



「慢性GVHDについて」

慢性 GVHD の症状

慢性GVHDでは、急性GVHDと比べて、さまざまな臓器に起こる可能性があり、その多くは生活の質(QOL)の低下にも関係します。主に下記のような症状があらわれます。

皮膚、爪、頭皮・体毛

皮膚は症状があらわれやすい部位です。かゆみや赤みを伴う発疹からはじまり、かさかさ乾燥することが多く、他にも皮膚表面が薄く、弱くなったり、古い角質が粉のように落ちたり、皮膚が硬くなることもあります。また、部分的に黒く色素がついたり、逆に色素が抜けて白っぽくなったりすることもあります。爪や頭皮・体毛にも症状があらわれることがあり、爪は縦線が入ったりもろくなり、体毛は脱毛したり白髪になったりすることもあります。



口腔

唾液が出にくくなり、口の中が乾き、口内炎ができやすくなります。口の中がつっぱって口が開けにくい、辛い物がしみる、味がしない、変な味がする、歯茎・粘膜が赤くなって痛い、虫歯がしやすいなどの症状があらわれることがあります。



眼

涙が出にくくなり、乾燥したり、結膜炎や角膜損傷などをきたすことがあります。その他、ざらざらする、痛む、充血するなどの症状があらわれることもあります。



肺

息苦しさや息を吐きにくいなどの症状があらわれることがあります。また、少しの労作で動悸・息切れがすることもあります。



「慢性GVHD治療について」

慢性 GVHD 治療の分類

慢性GVHDの治療は、全身療法および局所療法・支持療法に分けられます。全身療法には最初に行われる一次治療と、一次治療に抵抗性を示す(効果が弱い)場合に行われる二次治療があります。局所療法・支持療法は、全身療法の補助的な役割をもち、病変部位や症状ごとに治療を行います。

慢性GVHDの治療

全身療法
(一次治療、二次治療)

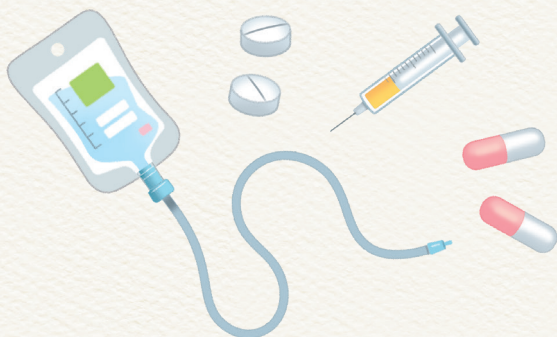
**局所療法・
支持療法**



「慢性GVHD治療について」

慢性 GVHD の一次治療について

慢性GVHDの標準的な一次治療は発症時の状況により異なりますが、ステロイド剤もしくはカルシニューリン阻害剤が中心となります。



慢性 GVHD の二次治療について

二次治療の開始時期は、患者さんの重症度や想定される副作用などにより総合的に判断します。

慢性GVHDの二次治療の標準的な治療法は確立していないため、原則、医師の経験、お薬の副作用や合併症の状態などに基づいて選択され、「有効なものを継続する」こととなっています。

慢性 GVHD の局所療法・支持療法について

局所療法・支持療法は、病変部位や症状ごとに、さまざまな治療法が存在します。

皮膚

皮膚症状により、ステロイド剤などの軟膏を使用することがあります。また、硬化性病変には、伸展運動やマッサージなどのリハビリテーションも有効な場合があります。



口腔



口の中の乾燥に対して、保湿成分を含んだリンスやジェル、唾液の分泌を助けるお薬などで対処します。口の中の痛みには痛み止めの軟膏やステロイド剤などを使用します。刺激の少ない歯磨き粉や柔らかい毛の歯ブラシなどを用いましょう。

眼

症状に応じて点眼液、眼軟膏、眼の乾燥を防ぐ器具などが使われることがあります。



肺



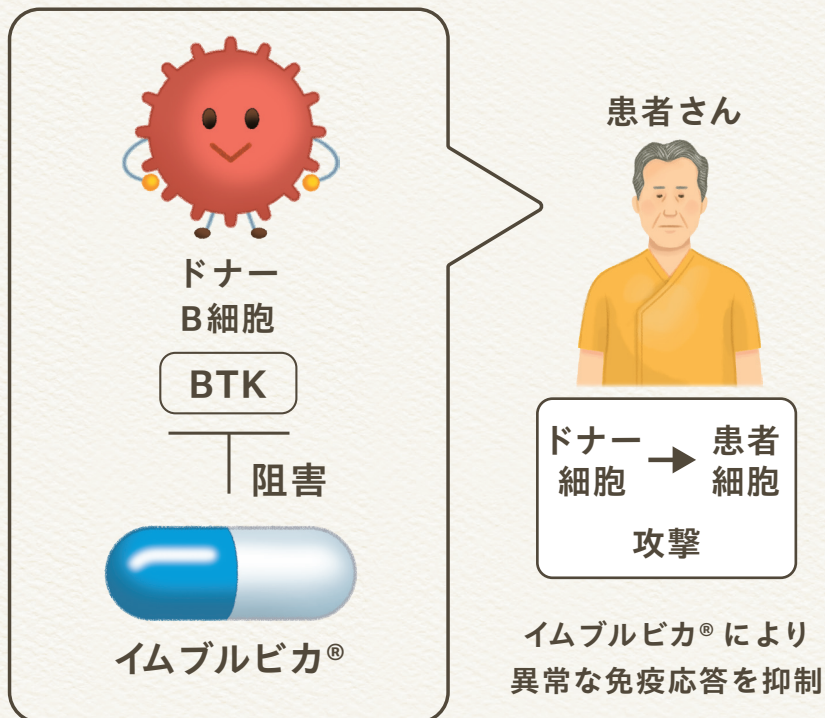
気管支拡張剤、吸入用ステロイド剤などのお薬を用います。また、呼吸筋リハビリも有効な場合があります。感染を繰り返すことで肺の機能は低下していくので、感染予防をしっかりとすることも重要です。



「イムブルビカ®ってどのように働くの？」

自己抗体産生に関わるB細胞の活性化に、ブルトン型チロシンキナーゼ (BTK) という酵素が関与しているとされています。イムブルビカ®は、BTKを持続的に阻害することで、慢性GVHDにおける異常な免疫応答を抑制すると考えられています。

慢性GVHD



「どんな人がイムブルビカ®の 治療を受けるの?」

イムブルビカ®による治療は、ステロイド剤による慢性GVHDの治療を受けたことのある患者さんが対象となります。詳しくは医師におたずねください。

イムブルビカ®の治療対象となる患者さん

造血幹細胞移植後の慢性 GVHD の患者さん

- ステロイド剤の投与で効果不十分な患者さん

イムブルビカ®の治療を受けることができない患者さん

- イムブルビカ®の成分に対して、過敏症を起こしたことのある患者さん
- 中等度以上の肝機能障害(肝臓の病気)がある患者さん
- 以下のお薬を服用している患者さん
 - ・ケトコナゾール(経口剤は国内未発売)
 - ・クラリスロマイシン
 - ・イトラコナゾール
 - ・エンシトレルビルフマル酸
 - ・セリチニブ
- 妊婦または妊娠している可能性のある患者さん



「 イムブルビカ®の 治療前に確認すること 」

下記に該当する項目がある場合は、イムブルビカ®服用中に注意が必要であったり、場合によっては治療を受けられないことがあります。

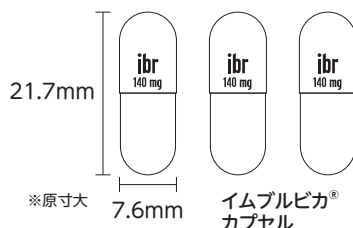
あてはまる方はイムブルビカ®服用前に、必ず医師にご相談ください。

- 血液を固まらせる働きをおさえるお薬による治療を受けている方
- 現在、感染症(敗血症、細菌・ウイルス・真菌感染)にかかっている方、
肝炎・結核・帯状疱疹にかかったことのある方
- 骨髄機能が高度に低下し、高度な血球減少(好中球、血小板、
ヘモグロビンなどの数が減っている)がみられる方
- 不整脈のある方、または以前に心房細動や不整脈があった方
- 重度の腎機能障害(重い腎臓の病気)がある方
- 軽度の肝機能の検査値異常がある方
- 手術(抜歯など歯科手術も含む)を受けたばかりの方、または、
これから手術を受ける予定のある方
- P.18のお薬の服用もしくは食品を常食している方

「イムブルビカ®を飲むときに 注意することは？」

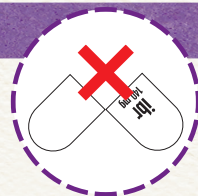
服用方法

- 3カプセルを1日1回服用します。
- コップ1杯程度の水またはぬるま湯と飲んでください。
- 医師、薬剤師に指示された服用方法に必ず従ってください。



服用時の注意

- カプセルをあけて中身だけを服用しないでください。
- 医師の指示なしに、自分の判断で服用をやめないでください。



飲み忘れた場合

- 決して2回分を一度に飲まないでください。
- 飲み忘れに気づいたとき、同日内であればできるだけ早く飲んでいただき、次の日からいつも通りの時間に飲んでください。

多く服用した場合

- 誤って多く飲んでしまった場合、出血があらわれる可能性があります。また、多く飲んでしまった場合に、敗血症、ヘモグロビン減少、白血球数減少、疲労、下痢、悪心、便秘、消化不良、胃食道逆流性疾患、喀血、挫傷などの副作用が報告されています。
- 多く飲んでしまった場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

服用しにくいと感じたら

- カプセルが服用しにくいと感じたら医師、薬剤師に相談しましょう。
- 多めの水や補助ゼリーなどと一緒に服用する方法もあります。

「 イムブルビカ® の服用中に注意が必要となるお薬や食べ物 」

お薬の飲み合わせによっては、副作用の原因となったり、イムブルビカ®の効果が出にくくなったりすることがあります。他のお薬とイムブルビカ®を同時に飲む場合には注意が必要です。必ず医師、看護師、薬剤師に相談してください。また、イムブルビカ®を服用中に他の医療機関で新しく別のお薬を処方される際や新たな健康食品を摂取する際などにも、医師、看護師、薬剤師に相談してください。

イムブルビカ®と併用してはいけないお薬

<input type="checkbox"/> 細菌や真菌(カビ)による感染症のお薬	ケトコナゾール [*] 、イトラコナゾール、クラリスロマイシン	血中のイムブルビカ®の濃度が上昇し、副作用が強くあらわれることがあります。
<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症のお薬	エンシトレルビル フマル酸	
<input type="checkbox"/> 肺がんに対するお薬	セリチニブ	

*内服薬は国内未発売です。

イムブルビカ®との併用に注意する必要があるお薬や食べ物

<input type="checkbox"/> 血液を固まらせる働きをおさえるお薬	抗凝固剤、抗血小板剤	出血の危険が増加するおそれがあります。
<input type="checkbox"/> HIV感染症のお薬	コビシスタットを含むお薬、アタザナビル、ダルナビル、ホスアンブレナビル	
<input type="checkbox"/> HIV感染症のお薬、 新型コロナウイルス感染症のお薬	リトナビルを含む配合剤、リトナビルを同時に服用するお薬	血中のイムブルビカ®の濃度が上昇し、副作用が強くあらわれることがあります。
<input type="checkbox"/> 真菌(カビ)や細菌による感染症のお薬	ポリコナゾール、ポサコナゾール、フルコナゾール、エリスロマイシン、シプロフロキサシン	
<input type="checkbox"/> 吐き気止め	アプレピタント	
<input type="checkbox"/> 高血圧や心臓のお薬	ジルチアゼム、ベラパミル、アミオダロン	
<input type="checkbox"/> フラノクマリン類を含有する柑橘類：グレープフルーツを含む食品、セビリアオレンジ(ダイダイとも呼ばれます。マーマレードやジュースに含まれることがあります)、ぶんたん(ザボン、晚白柚、ボンタン、ポメロとも呼ばれます)		
<input type="checkbox"/> 結核、非結核性抗酸菌症のお薬	リファンピシン	血中のイムブルビカ®の濃度が低下し、効果が弱まる場合があります。
<input type="checkbox"/> てんかんなどのお薬	カルバマゼピン、フェニトイン	
<input type="checkbox"/> セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品：古くから医療目的でも使われているハーブで、健康食品やサプリメント、ハーブティなどに含まれている場合があります。		

魚油またはビタミンEなどのサプリメントも、出血の危険が増加する可能性があります、注意が必要です。



「イムブルビカ®服用中の副作用は？」

イムブルビカ®の服用時には、治療効果の他に、副作用があらわれることがあります。

自覚症状としてあらわれるもの

- 出血
- 感染症
- 過敏症
- 下痢
- 口内炎
- 挫傷（肉離れ）
- 筋痙縮（手足のつっぱり）
- 疲労
- 悪心（吐き気）
- 発疹
- 末梢性浮腫
- 頭痛
- 呼吸困難
- 鼻出血
- 点状出血
- 筋骨格痛（体の痛み）
- 発熱
- 転倒
- 便秘
- 咳

など

副作用は自覚症状としてあらわれるものと、検査によりわかるものがあります。早い段階で気づくために、主な副作用やその症状について知っておきましょう。

自覚症状としてあらわれにくいもの

- **肝機能障害（B型肝炎などのウイルス感染症や、肝不全といった重篤な肝機能障害）**

定期的に肝炎ウイルスや肝機能の検査を行います。

- **進行性多巣性白質脳症（PML：JCウイルスによる）**

正常な状態だとJCウイルスは何もしませんが、免疫機能が低下していると増殖する可能性があります。

患者さんによっては意識障害、認知障害、麻痺症状が出ることがあります。

- **骨髄抑制**

血小板減少症、貧血、好中球減少症などがあらわれることがあります。定期的に血液検査を行い、重篤な骨髄抑制があらわれていないか確認します。



症状の出ない副作用もありますので、治療中は定期的に血液検査を行い、副作用が出ていないか確認します。



「服用中にあらわれやすい副作用」

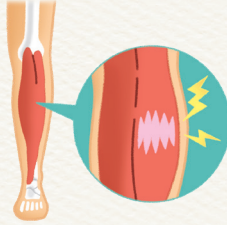
	筋痙縮	口内炎	下痢
副作用			
あらわれやすい時期 (臨床試験を参考に)	特に服用しはじめ(開始 3ヵ月以内)に多くあらわれることがあります。		服用から半年までと、1年経過後
主な症状	手足の筋肉が緊張しすぎて、つっぱったりこわばったりする	口内の粘膜に炎症が起こり、痛みを伴うこともある	下痢、軟便、(重い下痢では)脈が速くなる
予防・対策	体に違和感を覚えたら、医師に伝えましょう。	口腔内を清潔に保ちましょう。程度によっては外用薬や飲み薬で対応します。	下痢が続く場合は脱水症状を防ぐため、十分に水分をとることが大切です。また、整腸剤や下痢止めが処方された場合は医師の指示に従って服用しましょう。

症状がひどい場合は、早めに医師にご連絡ください。

疲労



挫傷(肉離れ)



感染症



服用している期間を通じてあらわれることがありますので、注意が必要です。

疲れやすい、体がだるい

筋肉に出血が起きており、
痛みを伴う

突然の高熱、寒気がする、咳、
痰が出る、風邪のような症状
(鼻水が出る)、体がだるい
など

十分な休息をとりましょう。

安静、冷却、圧迫、挙上が基
本になります。痛みに応じて
お薬を使用することもあり
ます。

服用中は外出時にはマスクを
する、外出後は手洗いやうが
いをするなど、細菌の侵入を
防ぐよう心がけましょう。



「特に注意が必要な副作用(1)」

感染症

体内に入った細菌を殺す重要な働きをする白血球や好中球が減ることで、細菌に対する抵抗力が弱くなり感染症(上気道感染、副鼻腔炎、肺炎、尿路感染、敗血症、結核の再活性化など)にかかることがあります。

主な症状

突然の高熱、寒気がする、咳、痰が出る、風邪のような症状(鼻水が出る)、体がだるいなど

予防・対策など

服用中は外出時にはマスクをする、外出後は手洗いやうがいをするなど、細菌の侵入を防ぐよう心がけましょう。



出血

血液を固める血小板が減少したり、血小板の働きが低下すると、出血が起こりやすくなったり、血が止まりにくくなります。

次にあてはまる方は、出血するリスクが増加する可能性があります。

- ・血液を固まらせる働きをおさえるお薬(P.18)との併用
- ・イムブルピカ®との併用に注意する必要があるお薬(P.18)の併用
- ・高齢(65歳以上)
- ・イムブルピカ®投与前のリンパ球数の増加($100 \times 10^9/L$ 以上)、血小板数の減少($100 \times 10^9/L$ 以下)、血液を固まらせる働きの異常(血小板凝集能低下、第VIII凝固因子低値およびフォン・ウィルブラント因子活性低下)、出血、高脂血症、精神神経疾患、大きな事故やけがの既往

主な症状

手足のあざや点状の内出血がしやすい、出血しやすい(歯ぐきの出血・鼻血・血尿・血便)など

予防・対策など

出血リスクのある方はイムブルピカ®服用前に医師に相談し、服用中には出血がないか注意してください。また、生活の中で体をぶついたり、外傷や打撲をしないように注意しましょう。



イムブルピカ®の服用時には下記のような副作用に注意してください。
このような症状がみられた場合は、重大な副作用であることもありますので、放置せず、次の診察を待たずに早めに医師、薬剤師に相談してください。

眼障害

下記のような眼の症状があらわれることがあります。

主な症状

眼が霞む・乾燥する、涙が増える、
眼の痛み・かゆみ、視力低下など

予防・対策など

このような症状がみられたら、医師、看護師、
薬剤師に相談し、眼科を受診するなどしましょう。

※ぶどう膜炎があらわれることがあるので、眼の異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診してください。この薬を使用している間は定期的に眼の異常の有無が確認されます。



不整脈

心房細動などの不整脈に関連した症状があらわれることがあります。

主な症状

動悸がする、めまいがする、ふらつく、
失神するなど

予防・対策など

このような症状がみられたら、医師に相談し、
心電図検査を受けるなどしましょう。



「特に注意が必要な副作用(2)」

過敏症

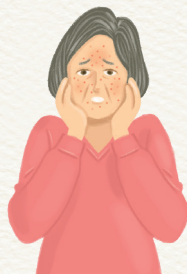
過敏症というアレルギーのような症状があらわれることがあります。

主な症状

皮膚のかゆみ、蕁麻疹、声がかすれる、くしゃみが出るなど

予防・対策など

このような症状がみられたら医師に相談しましょう。また、投与後 5～30 分以内で急激な皮膚の異常や息苦しさ、意識がもうろうとするなどの症状がみられた場合は、救急車などを利用してすみやかに医療機関を受診してください。



皮膚粘膜眼症候群 (Stevens - Johnson症候群)

風邪のような症状の後に、皮膚や粘膜、眼にアレルギーのような症状が報告されています。

主な症状

38℃以上の発熱、眼・口・喉・泌尿器などの粘膜の炎症や痛み、赤い発疹

予防・対策など

このような症状がみられたら、すぐに医師に連絡してください。



イムブルピカ®の服用時には下記のような副作用に注意してください。
このような症状がみられた場合は、重大な副作用であることもありますので、放置せず、次の診察を待たずに早めに医師、薬剤師に相談してください。

間質性肺疾患

お薬によって引き起こされる肺炎が報告されています。

主な症状

発熱、呼吸困難(息切れ)、
痰がからまない乾いた咳など

予防・対策など

このような症状がみられたら、すぐに
医師に連絡してください。



「日常生活の注意点」

イムブルビカ®の服用時に起こる副作用は、日常生活を工夫することで防ぐことができる場合があります。副作用を予防するために下記のような点を心がけましょう。

日常生活の注意点

- 脱水に気をつけましょう。
 - ・ 軟便や下痢がみられたら、水分を十分にとりましょう。
- 感染症に気をつけましょう。
 - ・ 手洗い、うがいをしましょう。
 - ・ 入浴、シャワーで清潔を保ちましょう。
- けがに気をつけましょう。
 - ・ 転倒や打撲、切り傷に注意しましょう。
- アルコールの摂取は控えましょう。

など



「服用を続けるためのヒント」

イムブルビカ[®]による治療中は、決められた量のお薬を継続して服用することが大切です。医師と相談して、ご自身に都合のよい服用時間を決め、1日1回、同じ時間に飲むとよいでしょう。お薬を飲むことを習慣づけて、飲み忘れを防ぐようにしましょう。

服用を続けるためのヒント

- たとえば、朝新聞を読むときなど、1日1回、同じ時間に服用するようにしましょう。
- お薬を服用した後に、カレンダーに記入するなどの習慣をつけましょう。
- 時計のアラームなどをセットして、服用する時間を忘れないようにしましょう。
- 散歩や買い物の前後に服用するなど、毎日の習慣にしていることと関連づけましょう。
- 服用する時間になったら、ご家族や友人に知らせてもらうという方法もあります。



治療中の体調や気になることを記録しましょう

治療日記の記入のしかた

● 毎日の体の状態を記録しましょう

下記の記入例に従って、治療日記に体の状態を記入するようにしましょう。診察を受ける際には、治療日記を持参して、医師にも確認してもらってください。気になることがあれば、医師、看護師、薬剤師に相談するようにしましょう。また、普段みられない症状があらわれたり、体調がおかしいと感じたら、次の診察を待たずに、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡してください。

記入例

日付 (曜日)	6/8 (月)	6/9 (火)	6/10 (水)	
イムブルピカ® 服用時間	7:50	7:50	7:50	
ステロイド投与量	50 mg	25 mg	50 mg	
体重	58.1 kg	58.3 kg	58.4 kg	
血圧・脈拍 mmHg	1回目 最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	169/98 (70/分)	164/89 (72/分)	172/92 (73/分)
	2回目 最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	153/88 (74/分)	152/87 (73/分)	169/90 (70/分)
消化器 症状	食欲がない			
	下痢		○	
	吐き気・おう吐		○	○
	口内炎			
感染症	発熱 (37.0℃以上)			○
	だるさ			
その他	動悸			
				息苦しい ことがあった

お薬を飲んだ時間を
記入しましょう。

血圧・脈拍を2回測り、
記入しましょう。血圧は
最高血圧と最低血圧を
記載します。

あてはまる症状があれば
「○」印をつけましょう。

発熱があった日には
「○」印をつけましょう。

体調の変化や、気になる
ことがあれば、自由に
書き入れましょう。

その他気になることをお書きください
6/9 いっもより下痢がひどい。
5回は下痢でトイレに行った。

●「症状」についても記録しましょう (Lee cGVHD症状評価尺度)

また、下記の記入例にあるように、質問票に従って、自分の症状を記入しましょう。症状を点数化することで苦痛な症状や生活の質 (QOL) の変化を医師と確認することができます。

記入例

日付 (曜日) (/) 週目

日付と服用してから何週目が記入しましょう。

設問は全部で30問あります。体の状態に近いところに「O」印をつけましょう。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
皮膚：						
1. 皮膚の色の異常	0	①	2	3	4	
2. 発疹	①	1	2	3	4	
3. 皮膚の厚みの増加	0	①	2	3	4	
ただれ	①	1	2	3	4	3
かゆみ	0	①	2	3	4	
難	0	1	2	3	④	
	0	1	2	3	④	12
	0	1	2	3	④	

各項目の合計点を計算し、総合スコアを算出します。

皮膚	設問 1 ~ 5 の合計点	3 点
精神と感情	設問 28 ~ 30 の合計点	12 点
総合スコア	設問 1 ~ 30 の合計点	48 点

最近1カ月間の症状について記入してください

(Lee cGVHD症状評価尺度)

本尺度は患者さんの苦痛な症状や生活の質 (QOL) をみるためのものです。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
皮膚： 1. 皮膚の色の異常 2. 発疹 3. 皮膚の厚みの増加 4. 皮膚のただれ 5. 皮膚のかゆみ	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
眼と口： 6. 眼の乾燥 7. 目薬をよく使う必要がある 8. ものがはっきり見えにくい 9. 口の中が痛いので特定の食べ物避ける必要がある 10. 口内炎 11. 点滴または栄養チューブからの栄養補給	0 0 0 0 0 0	1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	3 3 3 3 3 3	4 4 4 4 4 4	点
呼吸： 12. よくせきが出る 13. 痰に色がついている 14. 運動すると息切れする 15. 安静時に息切れする 16. 酸素を使う必要がある	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
摂食と消化： 17. 固形の食べ物を飲み込むことが難しい 18. 液体を飲み込むことが難しい 19. 吐く 20. 体重の減少	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点
筋肉と関節： 21. 関節と筋肉の痛み 22. 関節の動きが制限される 23. 筋肉のけいれん 24. 筋力の低下	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点

日付 (曜日)	/ ()	週目
------------	----------	----

イムブルビカ®を飲み始める日に測定

最近1か月間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
活力：						
25. 活力がない	0	1	2	3	4	
26. より長く寝る/ 昼寝をする必要がある	0	1	2	3	4	
27. 熱が出る	0	1	2	3	4	点
精神と感情：						
28. 気分の落ち込み	0	1	2	3	4	
29. 不安	0	1	2	3	4	
30. よく眠れない	0	1	2	3	4	点

Biol Blood Marrow Transplant, 8(8), Lee, SJ, et al. Development and Validation of a Scale to Measure Symptoms of Chronic Graft-versus-Host Disease, 444-452, 2002, with permission from Elsevier.

皮膚	設問 1～5 の合計点	点
眼と口	設問 6～11 の合計点	点
呼吸	設問 12～16 の合計点	点
摂食と消化	設問 17～20 の合計点	点
筋肉と関節	設問 21～24 の合計点	点
活力	設問 25～27 の合計点	点
精神と感情	設問 28～30 の合計点	点
総合スコア	設問 1～30 の合計点	点

治療日記

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
		()	()	()	()	()	()	()
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
			(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
			(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

治療日記

日付 (曜日)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg ・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg ・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧/ (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧/ (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

最近1カ月間の症状について記入してください

(Lee cGVHD症状評価尺度)

本尺度は患者さんの苦痛な症状や生活の質 (QOL) をみるためのものです。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
皮膚： 1. 皮膚の色の異常 2. 発疹 3. 皮膚の厚みの増加 4. 皮膚のただれ 5. 皮膚のかゆみ	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
眼と口： 6. 眼の乾燥 7. 目薬をよく使う必要がある 8. ものがはっきり見えにくい 9. 口の中が痛いので特定の食べ物避ける必要がある 10. 口内炎 11. 点滴または栄養チューブからの栄養補給	0 0 0 0 0 0	1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	3 3 3 3 3 3	4 4 4 4 4 4	点
呼吸： 12. よくせきが出る 13. 痰に色がついている 14. 運動すると息切れする 15. 安静時に息切れする 16. 酸素を使う必要がある	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
摂食と消化： 17. 固形の食べ物を飲み込むことが難しい 18. 液体を飲み込むことが難しい 19. 吐く 20. 体重の減少	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点
筋肉と関節： 21. 関節と筋肉の痛み 22. 関節の動きが制限される 23. 筋肉のけいれん 24. 筋力の低下	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点

日付 (曜日)	/ ()	週目
------------	----------	----

イムブルビカ®を飲み始めてから4週後に測定

最近1か月間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
活力：						
25. 活力がない	0	1	2	3	4	
26. より長く寝る/ 昼寝をする必要がある	0	1	2	3	4	
27. 熱が出る	0	1	2	3	4	点
精神と感情：						
28. 気分の落ち込み	0	1	2	3	4	
29. 不安	0	1	2	3	4	
30. よく眠れない	0	1	2	3	4	点

Biol Blood Marrow Transplant, 8(8), Lee, SJ, et al. Development and Validation of a Scale to Measure Symptoms of Chronic Graft-versus-Host Disease, 444-452, 2002, with permission from Elsevier.

皮膚	設問 1～5 の合計点	点
眼と口	設問 6～11 の合計点	点
呼吸	設問 12～16 の合計点	点
摂食と消化	設問 17～20 の合計点	点
筋肉と関節	設問 21～24 の合計点	点
活力	設問 25～27 の合計点	点
精神と感情	設問 28～30 の合計点	点
総合スコア	設問 1～30 の合計点	点

治療日記

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg ・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧/ (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧/ (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

治療日記

日付 (曜日)		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

最近1カ月間の症状について記入してください

(Lee cGVHD症状評価尺度)

本尺度は患者さんの苦痛な症状や生活の質 (QOL) をみるためのものです。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
皮膚： 1. 皮膚の色の異常 2. 発疹 3. 皮膚の厚みの増加 4. 皮膚のただれ 5. 皮膚のかゆみ	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
眼と口： 6. 眼の乾燥 7. 目薬をよく使う必要がある 8. ものがはっきり見えにくい 9. 口の中が痛いので特定の食べ物避ける必要がある 10. 口内炎 11. 点滴または栄養チューブからの栄養補給	0 0 0 0 0 0	1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2	3 3 3 3 3 3	4 4 4 4 4 4	点
呼吸： 12. よくせきが出る 13. 痰に色がついている 14. 運動すると息切れする 15. 安静時に息切れする 16. 酸素を使う必要がある	0 0 0 0 0	1 1 1 1 1	2 2 2 2 2	3 3 3 3 3	4 4 4 4 4	点
摂食と消化： 17. 固形の食べ物を飲み込むことが難しい 18. 液体を飲み込むことが難しい 19. 吐く 20. 体重の減少	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点
筋肉と関節： 21. 関節と筋肉の痛み 22. 関節の動きが制限される 23. 筋肉のけいれん 24. 筋力の低下	0 0 0 0	1 1 1 1	2 2 2 2	3 3 3 3	4 4 4 4	点

日付 (曜日)	/ ()	週目
------------	----------	----

イムブルビカ®を飲み始めてから8週後に測定

最近1か月間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
活力：						
25. 活力がない	0	1	2	3	4	
26. より長く寝る/ 昼寝をする必要がある	0	1	2	3	4	
27. 熱が出る	0	1	2	3	4	点
精神と感情：						
28. 気分の落ち込み	0	1	2	3	4	
29. 不安	0	1	2	3	4	
30. よく眠れない	0	1	2	3	4	点

Biol Blood Marrow Transplant, 8(8), Lee, SJ, et al. Development and Validation of a Scale to Measure Symptoms of Chronic Graft-versus-Host Disease, 444-452, 2002, with permission from Elsevier.

皮膚	設問 1～5 の合計点	点
眼と口	設問 6～11 の合計点	点
呼吸	設問 12～16 の合計点	点
摂食と消化	設問 17～20 の合計点	点
筋肉と関節	設問 21～24 の合計点	点
活力	設問 25～27 の合計点	点
精神と感情	設問 28～30 の合計点	点
総合スコア	設問 1～30 の合計点	点

治療日記

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

治療日記

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
		()	()	()	()	()	()	()
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg ・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
			(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
			(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)	(/分)
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

その他気になることをお書きください

日付 (曜日)		/	/	/	/	/	/	/
イムブルピカ® 服用時間		:	:	:	:	:	:	:
ステロイド投与量		mg	mg	mg	mg	mg	mg	mg
体重		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
血圧 mmHg・ 脈拍	1 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
	2 回目	最高血圧/ 最低血圧 (脈拍)	/	/	/	/	/	/
消化器 症状	食欲がない							
	下痢							
	吐き気・おう吐							
	口内炎							
感染症	発熱 (37.0℃以上)							
	だるさ							
	せき							
	咳/喉の痛み							
出血 症状	鼻血 歯ぐきの出血 あおざが できる							
その他	発疹・かゆみ							
	からだの痛み							
	動悸							

医師記入欄
(検査日:)

白血球数	好中球数	ヘモグロビン値	血小板数
/μL	/μL	/μg/dL	万/μL

最近1カ月間の症状について記入してください

(Lee cGVHD症状評価尺度)

本尺度は患者さんの苦痛な症状や生活の質 (QOL) をみるためのものです。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
皮膚：						
1. 皮膚の色の異常	0	1	2	3	4	点
2. 発疹	0	1	2	3	4	
3. 皮膚の厚みの増加	0	1	2	3	4	
4. 皮膚のただれ	0	1	2	3	4	
5. 皮膚のかゆみ	0	1	2	3	4	
眼と口：						
6. 眼の乾燥	0	1	2	3	4	点
7. 目薬をよく使う必要がある	0	1	2	3	4	
8. ものがはっきり見えにくい	0	1	2	3	4	
9. 口の中が痛いので特定の食べ物避ける必要がある	0	1	2	3	4	
10. 口内炎	0	1	2	3	4	
11. 点滴または栄養チューブからの栄養補給	0	1	2	3	4	
呼吸：						
12. よくせきが出る	0	1	2	3	4	点
13. 痰に色がついている	0	1	2	3	4	
14. 運動すると息切れする	0	1	2	3	4	
15. 安静時に息切れする	0	1	2	3	4	
16. 酸素を使う必要がある	0	1	2	3	4	
摂食と消化：						
17. 固形の食べ物を飲み込むことが難しい	0	1	2	3	4	点
18. 液体を飲み込むことが難しい	0	1	2	3	4	
19. 吐く	0	1	2	3	4	
20. 体重の減少	0	1	2	3	4	
筋肉と関節：						
21. 関節と筋肉の痛み	0	1	2	3	4	点
22. 関節の動きが制限される	0	1	2	3	4	
23. 筋肉のけいれん	0	1	2	3	4	
24. 筋力の低下	0	1	2	3	4	

日付 (曜日)	/ ()	週目
------------	----------	----

イムブルビカ®を飲み始めてから12週後に測定

最近1か月間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

	全くない	わずかに	多少	かなり	非常に	合計点
活力：						
25. 活力がない	0	1	2	3	4	
26. より長く寝る/ 昼寝をする必要がある	0	1	2	3	4	
27. 熱が出る	0	1	2	3	4	点
精神と感情：						
28. 気分の落ち込み	0	1	2	3	4	
29. 不安	0	1	2	3	4	
30. よく眠れない	0	1	2	3	4	点

Biol Blood Marrow Transplant, 8(8), Lee, SJ, et al. Development and Validation of a Scale to Measure Symptoms of Chronic Graft-versus-Host Disease, 444-452, 2002, with permission from Elsevier.

皮膚	設問 1～5 の合計点	点
眼と口	設問 6～11 の合計点	点
呼吸	設問 12～16 の合計点	点
摂食と消化	設問 17～20 の合計点	点
筋肉と関節	設問 21～24 の合計点	点
活力	設問 25～27 の合計点	点
精神と感情	設問 28～30 の合計点	点
総合スコア	設問 1～30 の合計点	点



より疾患の理解を深めたい方、専門医が答えるFAQ、
高額療養費制度などのお役立ち情報をお調べになりたい方へ

慢性白血病・リンパ腫 ナビ

慢性移植片対宿主病(慢性GVHD)患者さんサポートサイト



<https://www.imbruvica.jp/pts/gvhd/>



氏 名

住 所

連 絡 先

医療機関名

担当医師名

連 絡 先

ヤンセンファーマ株式会社

IBR-0131
IBR.Pt131.7
2026年4月作成

©Pharmacyclics 2021-2026
©Janssen Pharmaceutical K.K. 2021-2026

Johnson&Johnson

pharmacyclics®
An AbbVie Company

イムブルピカ®はPharmacyclics社との共同開発です。
ヤンセンファーマ株式会社はイムブルピカ®の製造販売元で、本資料の編集責任者です。